

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782

39
江川

黃田次官、在京米大使會談

アメリカ局長
2 田塚参事官
3 北米課長
4 北米課長
アジア局長
欧亜局長



東田次郎と在米大使との会談要旨

昭和19.11

12月11日午後4時半在米大使館東田次郎と在米大使との会談要旨

(会談したところ要旨下のとおり、会談特約部分)

1. 11月23日(別紙回覧)
2. フォリンジャー純高等弁務官の東京訪問について
の新聞報道。
(大使)
本11日の朝刊にフォリンジャー高等弁務官が14日東京に到着して佐藤総理と会談し、沖繩の自治権拡大について報告するに報道したところ、同高等弁

務官の軍人、沖繩の施政権返還について口に出

す権利は存在する、アメリカは(1) trusty の問題について

新聞に種々書かれては困る。

同高等弁務官は協議委員会出席及び佐藤総

理に対する表敬のため来日するものである。

3. 佐藤総理の訪米

(大使) 11月8日帰国し約1ヶ月滞米の予定である。

(フォリンジャー公使帰国中のため、彼の滞在日時と調整の要がある。)

帰国前に佐藤総理とあつて、日総理とフォリン

ジャーとの会談が成功するよう側面的に援助を

取上げ。

大佐領と祇理の会談の議題が固まったり

在米大使館、外務省の間に協議が行われる。

取上げ。

(次官) 目的は、議題として一応東西関係、

中国、Vietnam、日韓、沖縄、小笠原、防正その他

両国間の懸案問題等を含んでいる。

(大使) 沖縄については話し合いたい意向

あり。

(次官) 日米関係、経済援助等を含んでいる。

(大使) 施政権の即時返還を要求する意向あり。

GA-6

外務省

取上げ。

(新聞に対しては総理訪米についての
の打合せと向き合えるように留意)

GA-6

外務省